

3・11と音楽

詩人 和合亮一

作曲家 新実徳英 とともに

指揮 清水敬一

ピアノ 内平麻里

合唱 松原混声合唱団

I. トーク「震災後の創作」を巡って

詩人 和合亮一

作曲家 新実徳英

II. 合唱

混声合唱とピアノのための《つぶてソング第1集》

混声合唱とピアノのための《つぶてソング第2集》

混声合唱とピアノのための《決意》A.E.17

作詩 和合亮一

作曲 新実徳英

III. 全体合唱

「あなたはどこに」～〈つぶてソング〉第1曲

2014年 7月5日(土) 13時30分開場 14時開演 16時終演予定

鎌倉芸術館小ホール

全席自由 1,000円 (高校生以下 無料)

〈お問い合わせ・チケット購入〉

新日本研究所 TEL/FAX. 0467-31-8663

[http:// www.shinnihonkenkyusho.com](http://www.shinnihonkenkyusho.com)

主催：新日本研究所 後援：鎌倉合唱連盟、鎌倉アートフォーラム S

3・11と音楽

詩人 和合亮一
作曲家 新実徳英 とともに



和合亮一 Ryoichi Wago

1968年福島県生まれ。詩人。国語教師。詩集『AFTER』で中原中也賞、詩集『地球頭脳詩篇』で晩翠賞などを受賞。東日本大震災の直後からツイッター上で連作詩『詩の礫』と題した詩を発表し、大きな注目を集める。その後、『詩の礫』、『詩の黙礼』、『詩の邂逅』と立て続けに福島をテーマにした詩集を上梓。また、大友良英らと『プロジェクト FUKUSHIMA!』を立ち上げるなど、詩を媒体とした活動を精力的に展開している。震災後の活動について、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞などを受賞。最新刊は『心に湯気をたてて』（日本経済出版社）、『廃炉詩篇』（思潮社）。最近ではNHK総合の番組内で「復興サポーター」としての活動も展開している。



新実徳英 Tokuhide Niimi

1947年名古屋生まれ。東京大学工学部卒業。東京藝術大学作曲科卒業同大学院修了。'77年第8回ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールでグランプリ受賞。'82年文化庁舞台芸術創作奨励賞ならびに特別賞受賞。'03年別宮賞受賞。'06年オペラ『白鳥』で佐川吉男音楽賞受賞。'07年協奏的交響曲で尾高賞受賞。主な著書『風を聴く音を聴く』『うたの不思議：白いうた青いうたの秘密』『新実徳英の作曲入門』全12曲はじめ、東日本大震災以降に作品にはA.E (After the Earthquake) の通し番号が付されている。現在、桐朋学園大学院大学教授。桐朋学園短期大学講師、東京音楽大学客員教授。「つぶてソングの集い」プロジェクト顧問。

松原混声合唱団 Matubara mixed chorus 指揮：清水敬一 SIMIZU Keiiti

1953年に東京都世田谷区松原で誕生。1962年から関屋 晋の指導を受けるようになり、1973年全日本合唱コンクール全国大会に初出場で金賞を受賞。1980年小澤征爾指揮でマーラー：交響曲第8番《千人の交響曲》が演奏される際に、関屋 晋指導の合唱団の連合体である晋友会合唱団が誕生してからは、その一員としてベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、ボストン響、N響、都響、新日フィル、日フィル、シエナ・ウインド・オーケストラほか内外の有力オーケストラとの協演、'題名のない音楽会'（テレビ朝日）ほかのテレビ出演、レコーディングなどに参加している。松原独自としても活発な演奏活動を行っており、新実徳英、池辺晋一郎、高嶋みどり、木下牧子、信長貴富、松本 望ほか現代日本を代表する作曲家による合唱曲の初演も数多い。2007年発売の'ベスト合唱 100'（EMI）では唯一の新録音を行い、'ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭 2011'においては山田和樹指揮によるオーケストラ・アンサンブル金沢と協演するなど新しい活動にも意欲的に取り組んでいる。常任指揮者：清水敬一

